

教科目名 卒業研究（Graduation Research）

学科名・学年：情報工学科 5 年（教育プログラム 第 2 学年 ◎科目）

単位数など：必修 8 単位（前期 4 コマ，後期 4 コマ，授業時間 156 時間）

担当教員：情報工学科 卒業研究指導教員

授業の概要			
各教員から提示されたテーマを選択して、与えられた制約下で自主的かつ継続的に課題を探究し、発生した問題を解決する過程で、調査能力やデータの分析能力、論理的思考能力、デザイン能力などを修得する。研究成果のプレゼンテーションを行い論文にまとめることで、ディスカッション能力や論討論能力など総合的な学習能力を身に付ける。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (D1), JABEE 目標 (d2) (f)	
(1) 工学的な知識・技術を駆使し創造性を発揮して、問題解決の手段をデザインすることができる。(論文審査と発表審査)			
(2) 与えられた制約の下で計画的に研究を進め、結果をまとめることができる。(論文審査と発表審査)			
(3) 研究内容を論理的に説明し、結果を考察することができる。(論文審査と発表審査)			
(4) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身に付けることができる。(発表審査)			
(5) 研究に関する知見を自ら収集し、主体的・継続的に研究に取り組むことができる。(研究への取組状況)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
4 月	1. ガイダンス，研究室テーマ説明	●説明資料に基づき，各研究テーマの内容を説明する。 ●クラス担任を中心に研究室配属を調整する。	【理解の度合い】
	2. 研究課題の決定	○研究概要の把握 ●研究目的，基礎理論，実験手法などの概要を早めに把握する。	
9 月	3. 研究（初期段階）	●文献講読や輪講により基礎的知識を修得する	
10 月	4. 研究（中期段階）	●中間発表会は研究内容を他者に伝える技術を身に付けること，研究の方向性や方法について他者からの助言や批判を受け，新たな課題や問題点を発見し，各自の研究の更なる発展を期するために実施される。	
	5. 中間発表会	○研究の発展 ●実験や理論解析を通して探求心，洞察力，解析力を養う。 ●研究のまとめ方を検討し，仕上げる。	
12 月	6. 研究（後期段階）	○研究のまとめ ●研究内容を卒業論文にまとめる．抄録も作成する。 ●発表審査会用の資料を作成し，発表の準備を行う。	
1 月	7. 論文査読審査	○卒業研究指導教員である主査と副査の 2 名による論文査読審査。 ○卒業研究の担当指導教員全員による発表審査。	
2 月	8. 発表審査会		
履修上の注意		ガイダンスで研究課題の説明を受け，担当教員と相談して詳細な内容を決定する。	
教科書		なし	
参考図書		担当教員と相談しながら，各自で探す。	
自学上の注意		研究に主体的に取り組むこと。	
関連科目		情報工学科全科目，特別研究（専攻科），プロジェクト実験Ⅰ（専攻科）	
総合評価		達成目標の(1)から(3)は論文審査と発表審査で評価し，(4)は発表審査で，(5)は研究への取組状況で評価する。 <u>総合評価は各評点が全て 60 点以上のとき合格とする。</u>	
		総合評価＝（論文主査読者の評点 a）×0.3＋（論文副査読者の評点 b）×0.2＋ （中間発表会の評点 c）×0.2＋（発表審査会の評点 d）×0.2＋ （研究への取組状況の評点 e）×0.1 <u>*a, b, c, d, e≥60</u> 中間発表会および発表審査会の評点は，①研究テーマの理解②計画性③新規性④まとめる力⑤質問に答える力の 5 つの観点から採点し，出席した教員の評点の平均点とする。論文は，①研究の目的②背景の説明③実験方法の説明④実験結果の考察⑤図表書式など規定の順守の 5 つの観点から主査（卒業研究担当教員）と副査で審査，採点する。また，研究への取組状況は，研究ノートや取組態度などで卒業研究担当教員が評価する。	
		【総合評価】 点	